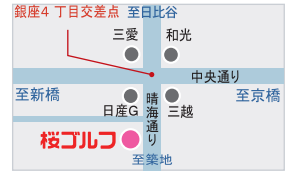


**株式会社 桜ゴルフ**  
 東京都中央区銀座5-9-1 銀座コティビル3階  
 (銀座4丁目交差点より1分)  
 銀座本店 伊勢丹新宿店 そごう千葉店

【お問い合わせは】  
 0120-83-5021  
 本社営業部 03-3572-8511  
 伊勢丹新宿店 03-3358-9181  
<https://www.sakuragolf.co.jp>



私ども桜ゴルフは本年、創業51周年を迎えることとなりました。これもひとえに、皆様方のご厚情の賜物と心より感謝申し上げます。

さて、昨年の会員権市場も、新型コロナウイルスの影響を免れる事は出来ませんでした。世界経済の停滞などを背景に法人需要が鈍化、関東圏平均相場は3月と5月に大きく落ち込み、5月末時点では年初比▲1.6%まで下落しました。しかしながら6月以降は二転、回復基調で推移しました。中

平均相場は年初比プラスへ

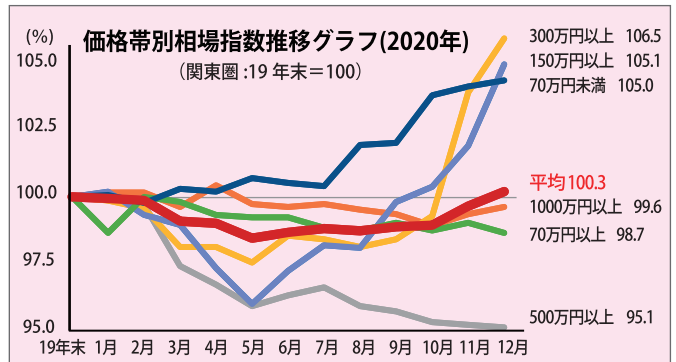


謹んで新春のお慶びを申し上げます  
 佐川ハチロー

も11月・12月は、個人の需要に加え10月から動き始めた法人の買いもあつて、単月で0.7%値上がりし、昨年中で最大となりました。

11月以降の相場上昇によつて、6〜12月の関東圏平均相場は1.9%値上がりし、12月第4週時点で年初比+0.3%と、昨年を通して初めてプラスに転じました。

昨年は、年間を通して活発だった個人の買いが相場を下支えしました。当社が受けた1〜12月の個人の買い注文は前年同期に比べて31%増え、より会員志向が高まったといえます。個人の買いは、予算上乗せのクラスアップや、ワーケーションなど働き方の変化に伴なって、河口



湖をはじめとする都心に近いリゾートコースに人気が集まりました。

さらに、入会条件の緩和や名変料の減額など、入会しやすさが人気条件の一つとなっており、今年に入会しやすいう施策が課題となりそうです。

新型コロナでもゴルフの評価高まる

新型コロナウイルスの感染拡大が止まらない20年にあつたと言つて良いのではないのでしょうか。

各ゴルフ場による感染防止対策に加えて、3密にならない安心して楽しめる屋外スポーツという認識が浸透するとともにゴルフ場入場者が増加、8月以降、名門や中堅コースでは平日でも予約が取りにくいほどの賑わいを見せました。

入場者の増加で注目されるのは、

新型コロナ禍でもゴルフの評価高まる

新型コロナウイルスの感染拡大が止まらない20年にあつたと言つて良いのではないのでしょうか。

各ゴルフ場による感染防止対策に加えて、3密にならない安心して楽しめる屋外スポーツという認識が浸透するとともにゴルフ場入場者が増加、8月以降、名門や中堅コースでは平日でも予約が取りにくいほどの賑わいを見せました。

入場者の増加で注目されるのは、

会員権市場	新型コロナ禍が影響し名門・接待用の法人の買いが鈍り、関東圏平均相場は5月末時点で年初比▲1.6%。6月以降は活発な個人需要に支えられ復調、11月・12月は法人の買いが動き出すなど単月では0.7%のプラスとなり、12月4週時点で年初比+0.3%に盛り返す。高齢者の売り目立つが、買いは個人のクラスアップ・リゾートコースを含め1〜12月で前年の31%増、バブル期を彷彿とさせる。
ゴルフ場	コロナの感染拡大に伴い、4月中旬には一時営業休止のゴルフ場が100コースを上回る。各ゴルフ場によってさまざまな感染防止対策を推進。マスク着用や徹底した消毒のほか、レストラン・浴室の使用休止や制限、バイキングの休止、セルフ・ツアーサムプレアの導入、乗用カートの1台2人使用の励行、クラブパスの休止や窓開け・増便などを実施。
ゴルフ場入場者	ゴルフ場の営業自粛や県外移動の制限などに伴って減少が続いた全国ゴルフ場入場者数は8月に急回復、前年同月比16%の増加を記録。ゴルフが3密を避け安心できる屋外スポーツとしての評価が広がったことが奏功。8月以降は名門・中堅コースでは平日でも予約が難しい状態。
世論調査	スポーツ庁による令和元年度調査のゴルフ参加希望率は3調査連続で上昇。男性は40代、50代、70代の伸びが目立ち、20代も高水準を維持。女性は30代と50代を除く幅広い世代で上昇。こうした前向きな姿勢が8月以降のゴルフ場入場者の急速な回復につながる。
ゴルフ競技	男女ともツアーの開幕が遅れ試合数も減少。女子プロツアーでは前年の黄金世代に続き古江彩佳、笹生優花をはじめとするミレニアム世代の活躍が目立ち人気うなぎのぼり。

20〜30代の若年層への広がりで、若年層の増加は男性ばかりでなく、黄金世代やミレニアム世代の女子プロゴルフファアの活躍もあつて女性にもみられるのが特徴です。

こうしたゴルフへの評価の高まりは、スポーツ庁調査の結果にも表れるゴルフ熱の上昇からも窺えます。若年層やゴルフ熱中層の中高年、さらには20年余り先まで見据えるリタイア層など、幅広い世代のゴルフニーズに応えるのも今後の大きな課題といえましよう。